

平新報

發行所 平新報社
編輯兼發行所 吉野山崎
印刷所 新報社
電話 五五五號
廣告料 一回五元
定額 五元
郵政特准 郵便局認可
送料 五元

磐剣第四回演武大會 優勝旗は赤井村青年

有段優勝刀は 矢内朝雄君「好間」

加藤丈夫氏を會長とする小林重三、國分千良、十二、磐剣道會第四回演武大會常務 庄司政之、佐藤信、會は去る十二日(日曜日) 雄 佐藤、平商業學校剣道場、右の山部、高木、草、て開催、當日は早朝より野、今野、須藤、小川、國、雪降りの銀世界にも拘らず、佐藤、信、語氏は不出席、多敷同好者出席時なるが殊に國分千良氏の出席、節柄意欲深きものであつた、尙ほ當日は八十七歳の、の室直與先生の來臨、平、の室直與先生に對し、町長青沼君、副會長小野寛、勵のため金五圓、平町青、美氏開會を宣し、全氏の發、年圖り全の賛援あり、聲の下に國歌合唱、加藤會長の費用全額負擔、はいつもながら會として、感銘すべきものである、當日の模様を記するに當り、當日の役割は、

當日の役割は、
◇會場係、山部隆雄、麻原、吉五郎、木田芳重
◇記録係、國分千良、高木善、採點係、國分千良、高木善、枝、葉谷久太郎、田子三郎、嵐正三、松本幸平、小松武勇、庄吉、松本幸平、小松武勇、草野大藏、受付係、藤井、一、今野賦、水竹仁、高杉、清壽、須藤肇、審判係「イロハ順」、小川文章、室直與、藤井一

勝となり和見君の勝利、一、有段優勝刀、十三名、矢内朝雄、大井川基司、田正光、小林正人、準決勝に入り矢内、小林の決勝となり、矢内氏の勝、愈々各町村青年「有段者は出陣出来ず」、優勝旗争奪戦となり、四ツ倉、渡邊、大浦、草野、内郷、好間、高久、平八、町村參加、好間、草野、赤井、渡邊準決勝に入り好間、赤井の決勝となり赤井の勝利、かくして加藤會長より優勝者に授與ありて閉會、附記するが段外優勝刀は試、合に對し多少の遺憾の點あり、都合により該優勝刀は次回迄會であつた事にした。

平一町目 評議員決定

平町一丁目の評議員は過、去る十五日の投票に於て左、の如く決定した、

評議員は、
第一組 飯田近治、白土、貞三、武部組、森下庄吉、菅本庄治、伊藤六兵衛、關原、新一郎、明榮司、齊藤喜代、伊藤大藏、明榮司、齊藤喜代、川岸通組、高瀬市太郎、栗城不二、三瓶健次、和田、弘尚、郡司茂雄、四劍士準決、評議員會に出席するに付

伏見彦衛氏 福島市轉住

前平町長伏見彦衛氏は福島、市町長職を命ぜられ去る二、日多数町民の見送りをうけ、赴任に居を去り、
◇福島市新町六十四番地、植田町小野保氏安治邸に、植田氏は去る二十三日逝去、本、日葬執行された。

小野家の訃 松本誠氏

軍司令部附陸軍技手松本誠、氏、の訃は去る二十三日、本、郡木村の故人宅出棺、菩提所、徳林寺に於て執行され、同日同窓會長關内正一氏は、形電及び弔辭を贈呈した。

音信交換 河上先生

拜啓、音信の候、益々御清昌、奉大賀候小生不相變、願、にて消光罷任候間御放慮、

山崎清三氏 平新報社局長に

平新報社局長に、山崎清三氏は、平新報社、社長に就任した。

問題化した 平藝妓屋組合

過日平藝妓屋組合では、總會を各谷口に於て開き、平町長、全警察署長、消防組幹部等、を招き懇親會を開いた、は、例年になく平町長、料理店、拾軒を招いて新聞紙、に公表したので、大分問題化、しつゝあるが、一休氏の三、十幾軒は完納せぬ事になる、事案の事、何を基準とし、た、の、相互に持ちつ、持たれ、の、営業かくの如き、區別を附すべきものでなく、料理屋側役員のみ招待な、る、の、角、今、回の、所、置、は、百、合、子、と、稱、し、一、昨、十三、日、の、御、披露、目、と、有、り、米、京、の、合、幹、部、組、合、長、鈴木、重、助、氏、他、込、み、右、二、腕、に、ロー、マ、字、の、幹、部、の、ヤ、リ、方、は、下、手、を、や、つ、て、ボ、ン、ゴ、に、左、に、ス、ー、さん、の、た、も、で、反、對、藝、妓、屋、を、樹、シ、キ、は、ス、ゴ、イ、ど、さ、あ、り、つ、る、の、如、き、第、四、學、校、以、上、の、ネ、〇、湖、月、の、貞、奴、姐、さん、〇、〇、ケ、〇、月、汽、車、は、出、て、行、潛、行、の、懸、念、と、な、る、で、あ、ら、ふ、平、藝、妓、組、合、は、今、回、の、招、待、を、了、した、拾、軒、の、料、理、店、の、み、持、の、種、子、〇、仲、家、に、し、づ、い、つ、事、に、な、り、決、して、玉、代、完、名、乘、る、は、元、開、花、に、居、つ、た、妓、賣、の、浮、き、沈、み、と、い、ふ、原、則、を、ひ、き、か、き、相、變、り、御、ひ、び、き、を、願、知、ら、ぬ、事、に、な、る、が、智、者、と、大、分、三、味、線、は、若、い、に、似、合、は、す、ド、ト、も、に、確、か、と、の、事、だ、が、紀、州、な、ら、ず、靜、岡、生、産、の、

石城電話番號便覽發行

本社發行の石城電話番號便覽は、頗る評判よく本年、度第二版を待兼ね發行の期に合せ殺到する状態、ので三月一日附發行する様それ、準備を急いで居る、廣告御希望の方は至急申込んで頂度いと存じます、尚編輯に際し、萬全を期する為再度、仙臺通信局へ認可手續をとり特に諸橋元三郎氏が、監修の勞を執られる事になつた。
昭和八年二月
平新報社

話耳目

筆者は判官當時より平藝妓に月一回の公休日を設定せよと力説したが當時の組合幹部警察署長が一、人として決行するものがなかつたが現署長小田部秀雄氏は大分ハンパが判ると見える。

黄物失敬は今の流行と御座、い、〇、久、本、の、久、奴、招、津、下、り、平、は、水、に、合、つ、た、と、見、え、な、か、〇、期、か、さ、だ、が、仙、壹、行、の、ス、ー、さん、を、氣、に、し、て、深、更、黙、考、する、と、か、〇、玉、川、の、月、丸、の、小、原、節、谷、口、の、秀、勇、姐、さん、は、番、外、と、して、榮、家、の、榮、姐、さん、の、ふ、と、竹、の、家、の、朝、龍、姐、さん、の、細、此、處、い、ら、ス、ロー、ガ、可、な、り、か、
平町では新川淵に近き人々が第四小學校建設問題で騒ぎ初めたが町當局は勿論、一般町民は感情に惹かず、勸定で進むべしである、兎に角必要の物は造らざるべからず、緩急其よろしきを得よ、但し基金無き財源なき平町は町税のより以上の負擔を促し筆を擱く

早く農村を救済せよ

江尻中

都會と云ふ大消費を爲すの爲に行つて来た爲政者も、深刻なる不景氣は、生國家産業の基礎である農村...

鐵脚縦横寸感

最近着任した平水の松本...

知人消息

横井勝氏、聲中教諭の氏...

平町南町

上田外科醫院 院長 上田耕作

建築一般の相談所

建築設計及び出願手續 材料の選擇相談

大井建築平出張所

平町八幡小路

辰(官)許平町中町

砂クサのクスリ

膏(家傳妙藥)本舖山田盤磨

山野邊無砂搗精米所

山野邊林一番名久利

釜屋商店

電話九番・九九番

西村屋藥舖

平町二丁目 長電話三番

高久病院

平町田町 電話五一三番

吸入用酸素

純度99%

關内藥局

電話四〇番

新製品 ヨット安全剃刀

研器兼用 皮砥付

釜屋商店

電話九番・九九番

平町五丁目

釜屋商店

電話九番・九九番

釜屋商店

電話九番・九九番

將來の平町

荒川恒次郎

つ大なるを思ふ我平町々々消費の平である事を直感する吾人は自力生産の太平...

寄稿 歡迎

眞の農村振興策、平町是研究論文大歡迎(平新報社)